

報道関係各位

2023年4月28日

～東光電気工事が次世代バイオディーゼル燃料「サステオ」を発電機に使用～

アクティオが風力発電建設工事現場において発電機を提供

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼COO:小沼直人、以下アクティオ)は、東光電気工事株式会社(本社:東京都千代田区、取締役社長:青木宏明、以下東光電気工事)が建設中のJRE 宮城加美風力発電建設工事現場において、次世代バイオディーゼル燃料「サステオ」を使用して二酸化炭素(CO₂)の2割削減を目指す取り組みに賛同し、2023年4月からタワークレーン用の発電機のレンタルを行っております。この発電機には世代バイオディーゼル燃料「サステオ」が使用されております。

「サステオ」は、株式会社ユーグレナ(本社:東京都港区、代表取締役社長:出雲充)が製造・販売する燃料で、使用済み食用油を主としたバイオマス(生物資源)を原料に使用しています。燃料の燃焼段階ではCO₂を排出しますが、使用済みの食用油の原材料である植物や微細藻類ユーグレナは光合成でCO₂を吸収するため、燃料使用時に発生するCO₂の排出量が実質的にはプラスマイナスゼロとなるカーボンニュートラルへの貢献が期待されています。

今回の燃料の「サステオ」への切り替えにより、東光電気工事はカーボンニュートラルの概念から燃料燃焼時に排出するCO₂を最大2割程度削減できると見込んでいます。

アクティオは「レンタルティング」のノウハウを活かし、脱炭素社会の実現に貢献する製品やサービスを提供していきます。

■現場概要

施主:ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社

元請:東光電気工事株式会社

タワークレーン:JCW1800K(株式会社TAリフト)

タワークレーン用発電機:株式会社アクティオ(大型発電機 600kVA×2台)

燃料混合:カメイ株式会社(塩釜貞山油槽所にて生成した「サステオ」を供給)

燃料輸送:株式会社浅野石油(「サステオ」を専用のタンクローリーで現場まで輸送)

現場名:JRE 宮城加美町風力作業所

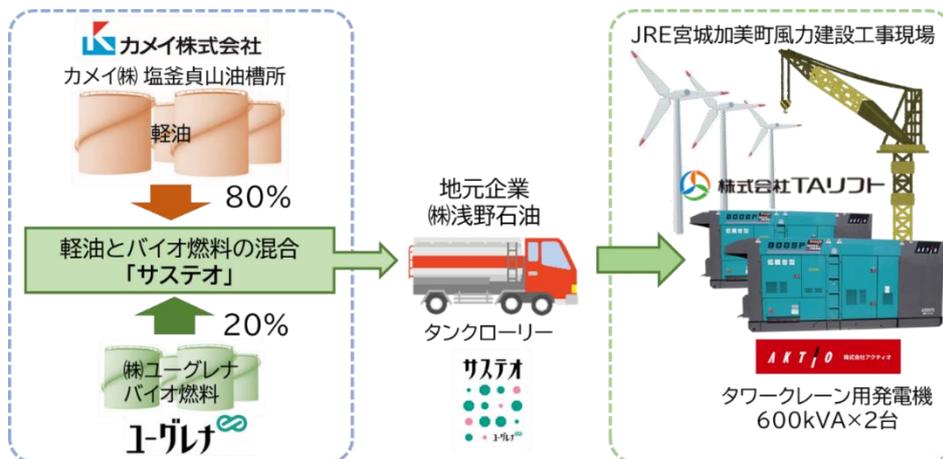
全体工期:2020年5月～2024年3月

タワークレーン使用期間:2023年4月～2023年10月(予定)

現場住所:宮城県加美郡加美町地区

■参考資料

【燃料供給体制の全体イメージ】



■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応

じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ エンジニアリング事業部 パワーシステム部
TEL:03-6666-2205